

平成28年 萩市議会3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	8	森 田 哲 弘	3月7日午前
2	19	斉 藤 眞 治	
3	2	石 飛 孝 道	午後
4	9	佐々木 武 夫	
5	10	関 伸 久	
6	5	佐々木 公 惠	
7	7	美 原 喜 大	3月8日午前
8	11	西 中 忍	
9	16	中 野 伸	午後
10	4	小 池 太 一	
11	13	棕 晶 雄	
12	23	宮 内 欣 二	3月9日午前
13	1	五十嵐 仁 美	
14	14	大 村 赳 夫	午後
15	12	波多野 勝	
16	18	守 永 忠 世	

質問順位	1	質問者	森田哲弘 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 東部の医療体制について	1. 田万川地域に医療機関がなくなり地域の方々は不便と不安を感じられています。田万川地域の早期診療再開への取組みに併せ、東部地域の医療体制についてどの様にお考えでしょうか。		
2. 江崎の定置網みらいプロジェクトについて	1. 東部地域振興の起爆剤として期待される定置網みらいプロジェクトの支援についてお尋ねします。		

質問順位	2	質問者	齊藤真治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市総合福祉センターの老朽化対策について	1. 萩市総合福祉センターの建て替え計画の進捗状況について これまでの協議の状況と新築計画は		
2. 歴史・観光のまちづくりについて	1. まちじゅう博物館構想の中核施設である萩博物館の機能強化対策について 博物館スタッフ（正規職員）の増員計画は 2. 観光客への「おもてなし」について 世界遺産及び、各観光名所でのフォトスポットへの案内は		

質問順位	3	質問者	石飛孝道議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. ジオサイト笠山について	1. 笠山周辺の景観をよくするために。		

質問順位	4	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩の大学で学ぶ学生への進学就労の自立支援	1. 20歳以上の学生への助成・支援について 2. 行政・民間・学校、一体の萩市での取り組みについて		
2. 離島対策について	1. ショートステイ対応について 2. 災害・救急対策について 3. 船・車での移動助成と対策について		
3. 低炭素化社会に向けて萩市の地域エネルギー事業対策について	1. 住民への啓発と助成、再エネの地産地消対策について 2. 水素社会の実現に向けた取り組みについて		

質問順位	5	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 若年層むけの移住・定住促進住宅の成果と今後の展望について</p>	<p>1. 平成 27 年国勢調査が公表された。ここ萩市においても人口減少は加速化しており、ついに萩市の人口は 5 万人を割り込んでしまった。特に旧郡部においては旭地域を除けば軒並み 10%以上の減少率である。人口減少の根は深い。ただ、これは萩市だけの問題ではない。今回の国勢調査では三大都市圏を形成する大阪府ですら戦後はじめて人口減少となるなど、全国的な趨勢となっている。</p> <p>だからと言って、あきらめてはいけない。むしろ萩市は最重要課題として、この問題に取り組むべきであり、事実、萩市はその対策に取り組んでいる。前回の改選間もない平成 26 年 6 月定例会において、私は旧郡部に若年層むけの宅地造成ができないか、と提言をさせて頂いた。その結果、宅地造成ではないものの、かたちを変え、須佐地域に東部地域定住促進住宅、名称「うみかぜ」の建設に着手し、その建設工事もこの 3 月中旬には終了する見込みと聞いている。については、この事業について以下の点をお訊ねしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入居者の見込みは立っているのか 2. 入居者がいるのであれば、どういう属性の入居者か 3. 移住・定住という当初の目的を達成できるのか 4. この事業成果における市長の所感について 5. 今後、同様の取り組みを行う計画はあるか 6. 宅地造成にとどめ、建物はフリープランにすることもやはり必要ではないか 		
<p>2. シティセールスの一環として萩のまちを映像化し、全国に配信を</p>	<p>1. 消滅可能性都市リストの公表に感化され、地方創生の掛け声が全国に轟く。これを機に地方自治体における本格的な人口争奪レースが始まった。都市部から地方への人口移動を政府も後押ししているが、その熱も冷めやらぬ中、次は一億総活躍社会である。ここは地に足をつけて、萩市の抱える課題を解決していきたい。その課題の一つは前述の人口減少問題である。定住住宅など受け皿となるハードの整備は進みつつある。しかし、その前に数多ある自治体から萩市は選ばれる存在とならなければならない。その為に</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>は、萩の「まち」そのもののブランド化が必要である。</p> <p>年輩者にとって萩市はすでに憧れのまちであり、ある意味ブランドかもしれないが、若年層においてはどうか。萩市の存在はその世代には希薄になっていないか。今後、萩市が他市から若年層を迎えるというのであれば、今一度、その対象者にむけたシティセールスの戦略が必要である。その施策の一つとして映像配信を提言したい。ただ、映像にナレーションを付けて配信すればいいというものではない。萩市の持つ付加価値、プレゼンスが十分に伝わる映像美、これを演出できるプロ集団による映像製作・配信が必要だということを付け加えておく。求めるものは映画ではない、メッセージ性の濃い恣意的な映像であり、いわゆるプロモーションビデオである。</p> <p>当初の製作費はかかるかもしれないが、配信方法は Youtube を利用すれば無料である。そうすれば不特定多数の若者に萩市の魅力を伝えることができるのではないか。そして、これは観光の PR にもなり得るなど、相乗効果も期待できる。</p> <p>これだけの歴史文化遺産を抱え、そして自然、食にも恵まれた自治体はない。都市部にはないものがここ萩市にはある。ただ、それが上手く伝わっているかである。他市と同じことをしていても萩市は生き残れない。萩ブランドを更なる高みに。この過酷な人口争奪レースの勝者となる為にも、映像配信による PR は欠かせない。</p>

質問順位	6	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市民の生命を守る施策について	1. 市内に設置しているAEDの活用状況について 2. コンビニなどへAEDの設置を		
2. 霊園承継の施策について	1. 市有霊園の現状と管理体制について 2. 公営の納骨堂設置について		

質問順位	7	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩の創生について	1. 遷都、道州制について 2. 飽くなき闘いへの挑戦		
2. ジオ・パークと地域活性化について	1. 認定申請に伴う地域活力の復活プログラムを (世界遺産とジオ・パークの導線計画を) 2. ジオサイトの周知と観光化へ		
3. 災害復旧について	1. 災害復旧後の後始末について及び県事業との調整を 2. 広谷林道のその後の対応の進捗状況は 3. (林道) 作業道の復旧について		

質問順位	8	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 萩市の将来像をどう考えているのか</p>	<p>1. 私は、人口減少・少子化問題が萩市の抱える最大の課題だという一貫した考えのもと、これまで一般質問等を通じて何度となくこの問題を取り上げ、その中で他自治体の先進的な施策について紹介したり、萩市に合うような形で提案したりしてきましたが、市でもこれまで、中長期的な視点から人口減少問題に対応する様々な施策を行って来ました。</p> <p>しかし、昨年実施された国勢調査の速報値では、萩市の人口は4万9571人となり、残念ながら5万人を割り込む結果になりました。</p> <p>特に増減率では、マイナス7.8%と美祢市に次いで県内13市中2番目に悪い数字となり、マイナス7.3%だった阿武町よりも悪い結果となっています。</p> <p>そこで、まず今回行われた国勢調査の結果について市長はどのように捉えているのかお尋ねします。</p> <p>また、人口・出生数の減少スピードを抑制できない原因をどのように考えているのか、併せて市長の所見をお尋ねします。</p> <p>さらに将来、次代を担ってもらう若者達にどのような萩市を託そうと考えているのか、市長の考える萩市の具体的な将来像をお尋ねします。</p>		
<p>2. 子どもが安心して遊ぶ事のできる場の提供で、更なる子育て支援の充実を</p>	<p>1. 出生数が年間250人を割り込んでいる萩市の現状を少しでも改善するためには、子育て環境の更なる充実が不可欠です。</p> <p>子育て環境の充実には、子どもたちが安心して遊ぶ事のできる場所を提供することや、子どもの遊びをサポートする拠点づくりということも重要な視点だと思います。</p> <p>さて、遊び場や遊びの拠点という観点から萩地域、特に明倫小学校区、椿東小学校区、椿西小学校区の状況をみると、明倫小学校区には中央公民館や児童館、中央公園やプレーパークが、椿西小学校区には、ウェルネスパークや市民体育館があります。</p> <p>しかし、椿東小学校区には、公民館や児童館は勿論のこと、公園等の子どもが安心して遊ぶ事のできる場所がありません。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>私は、子どもの遊び場や遊びの拠点には、小さな子どもでも自分で遊びに行くことが出来るという、距離的条件が重要なので小学校区単位で整備する必要があると思っています。</p> <p>そこで、「子育て世代包括支援センター」の設置という具体的な施策を総合戦略で掲げ、少子化に取り組もうとしている萩市として、子ども達や子育て世代が住んでいる地域に関係なく、安心して遊ぶ事のできる場を提供するために、椿東小学校区に遊び場や遊びの拠点を整備する考えがないか、市長の所見をお尋ねします。</p>

質問順位	9	質問者	中野 伸 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 道路行政	1. 県道・萩篠生線（如意ヶ嶽地区）整備について ①今後の見通しについて		

質問順位	10	質問者	小池太一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 認知症について	1. 完治できない認知症、どのような取り組みをされていますか現状をお尋ねします。		
2. 萩市で撮影・製作される認知症を取り上げた映画について	1. 製作・撮影支援は考えておられますか。		
3. 城下町の空き家、野田家・志賀家の活用について	1. 維新150年にむけて、城下町散策ルートに休憩場所を設けるお考えはありませんか。		

質問順位	11	質問者	椋 晶雄 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 維新150年を2年後に控えた萩市の取組みについて		1. 明治維新150年を2年後に控え、市としてどのような施策を予定されているか、例えば、今年のアオパーク認定に続き1年後・2年後の取組みはどう考えておられるか市長の考えをお尋ねいたします。	

質問順位	1 2	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 過疎の激化をどう食い止め振興するか	1. 国勢調査速報値により、周辺部となった旧町村の地域の人口減少が、萩地域の2倍のスピードで進行していることを市長はどう見ているか。それに対してどのような振興策を考えているのか。 2. 保育園、学校がなくなり、田万川では、医療機関がなくなった。このままではさまざまな行政サービスが切り捨てられかねない。過疎が進めば、人が住めない地域が広がるということになる。広域合併の大きな弊害である。このような地域が出ないように対策を立てるのは行政の責任である。各総合事務所での振興策をどう進めていくのか。 3. 行政組織の変更は周辺部の過疎対策に役立つのか。総合事務所の体制強化は行われるのか。 4. 移住促進、空き家活用をさらに加速する手法をどう考えているか。		
2. 農業農村の再生をどうはかるか	1. 農業再生を打ち上げて、数年たつが、再生の方向に向かっていると認識しているのか。再生していないとすると、どこに課題があると考えているのか。今後何をもって課題を解消し農業を再生していこうと考えているのか。 2. 農業、地域の担い手は、大規模化・法人化が唯一の道なのか。零細農家、家族経営を萩市農業農村の中にどう位置づけるのか。		
3. 広域災害と住民の活動	1. 数年ぶりの積雪と低温による水道管凍結漏水による断水の発生で災害対策本部が設置され、復旧活動が行われた。住民からは除雪への苦情も寄せられた。 広域災害における対応については、実際の経験から住民の力を借りなければ安全と生命線は確保できないということを繰り返し訴えてきたが、今後どのような住民の体制をつくっていくのか。 2. 水道の確保と体制をどう考えるか。		
4. 障がい者就労継続支援事業の工賃向上計画と萩市の対応について	1. 障がい者の貧困の実態を把握しているか。 2. 山口県は、障がい者就労継続支援事業B型における工賃の向上計画を定めて、工賃の向上を目指しているが、萩市における課題と市の対応をどう考えているのか。		

質問順位	13	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市役所本庁の窓口業務について	1. 窓口業務をする中で支障は生じていないか。 2. 市が委託してワーキングプアを作っていないか。 3. 経済効果があるのか。		
2. 寒波時の上下水道部のあり方について	1. 水道管凍結に関して市民へ注意の喚起が行われたか。 2. マンガン除去後の送水と給水のバランスは計算されているか。 3. 緊急時の除去装置の予備はあるのか。 4. 定期点検やそうじは行なわれているか。 5. 各支所に、水道の知識のある職員が配置されているか。		
3. 小中一貫教育校 福栄小学校・中学校の取組について	1. 小中一貫でなく小中一貫型にしたのはなぜか。 2. すでに調査であがっている課題への対策はどのようにされるのか。 3. 具体的な取組に向けての検討は十分されているか。 4. 萩市の方針で、小中一貫教育の拡充を考えているようだがその必要性は何か。		

質問順位	14	質問者	大村 赳夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 空き家対策について	1. 空き家対策について、決定打がないのが現況であるが、1月16日、日経朝刊に画期的な活字がおどりました。空き屋を準公営住宅として整備しようというものです。このことについて何か情報をおもちであれば、お示しをいただきたいと思ひます。		
2. 銅像建立について	1. 井上勝さんの銅像を建てるとの方針が示されました。時宜をえて萩駅周辺の活性化に資するのではと評価をいたします。同時に、明治150年を期して桂小五郎さんの銅像建立についての考え方をお伺ひします。		

質問順位	15	質問者	波多野 勝 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 少子高齢化に伴う「終活」などへの取り組みについて	<p>1. 近年「最期」や「死後のこと」などについて考えたり周囲と話し合ったりする必要性が高まっていると考えるが、市長の所見をお伺いします。</p> <p>2. 高齢者自身や高齢者の親を持つ世代などに対して「終活」などに関する意識調査を実施してはどうでしょうか。</p> <p>3. エンディングノートの作成・配布を行っては、その際、「終活講座」なども開催し、相談も受け付けてはどうか。</p> <p>4. 萩市における独居高齢者数と死亡時に身よりのない方もおられるのではないのでしょうか。その推移も併せてお尋ねします。</p> <p>5. 地域や親族との関わりが希薄化する中で、終活支援の必要性について、今後の見通しも含め、萩市としての今後の対応についてどう取り組まれるかお尋ねします。</p>		
2. 博物館について	<p>1. 展示品について</p> <p>2. 入館料について</p> <p>3. 駐車場について</p>		

質問順位	16	質問者	守永忠世議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 福祉行政について	1. 認知症、ねたきり老人を抱える在宅介護を要する人を、介護する側（家族）の支援について萩市の現況についておたずねをいたします。		
2. 学校教育行政について	1. 「脱ゆとり教育」で授業数が増えた上に、部活動や事務処理、生徒指導におわれる。「子どもと向き合う時間が足りない」と悲鳴が聞こえると現場教員からの声としていわれています。 萩市における現状についておたずねをいたします。		